

2020 - 21 年度 留学開始時 報告書

(報告期間 2020 年 7 月 1 日 ~ 2020 年 9 月 25 日)

国際ロータリー第 2710 地区

グローバル補助金奨学生

河野 絢子

報告書提出日：2020 年 9 月 25 日

派遣クラブ：広島北ロータリークラブ

カウンセラー：秋山 竜一 様

受入クラブ：Rotary Club of Berkeley

カウンセラー：Mr. Grier Graff

留学先：University of California, Berkeley

専攻：Master of Public Health (MPH)

## 1. 生活の立ち上げ

アメリカのカリフォルニア州に到着して半年程が経過しました。到着した頃はちょうど、コロナウイルスの関係で、カリフォルニア州に外出禁止令が出されたばかりでした。暴動の危険性なども報道される中、不安を抱えながらの生活立ち上げとなりました。住むアパートを決めてからも、しばらく暴動やアジア人差別に対する不安は消えなかったもので、しばらく家に籠る生活を続けていました。行政手続きをしようにもオフィスが開いておらず困りましたが、徐々にオンラインで手続きができるようになり安心しました。また、生活品の購入もオンラインで行うことができ、大分助かりました。時間はかかりましたが、最近はずっかり安定した生活を送れています。

## 2. 学業の開始

私が所属する Interdisciplinary MPH program (多分野に跨る公衆衛生学プログラム)は11ヶ月のプログラムで、7月の夏学期から始まり、来年6月に卒業予定です。通常2年間かけて取得する単位数を、1年間で取得するプログラムなので、ハードな学業生活が想像されます。夏学期は7・8月の2ヶ月間をかけて行われ、下記の授業を無事に終えました。ご参考までに、成績も記載します。

- ・生物統計学 (必修) A+
- ・疫学 I (必修) A
- ・MPH プログラムセミナー (必修) A+

母子栄養保健と共に、定量的な研究を行うに必要な統計学や疫学といったハードスキルを学びたく留学させていただいていますので、夏学期ではその基礎をしっかりと築くことができたと自負しています。また夏学期の間に、修士論文のテーマを考え、指導教授を探したり、データセットを探したりしました。現在のところ、カメルーンにおける、妊娠中の肥満と新生児・乳幼児死亡率の関係について分析を行う予定です。指導して下さる教授も無事に見つけることができ、良かったです。

秋学期は8月末から開始されました。下記の授業を受講しています。

- ・医療政策とマネジメント (必修)
- ・健康と社会行動 (必修)
- ・公衆衛生におけるリーダーシップ(必修)
- ・MPH プログラムセミナー (必修)

- ・多変量統計
- ・統計とデータサイエンス
- ・疫学 II
- ・公衆衛生栄養学コアコース
- ・母子栄養保健

夏学期に引き続き疫学や統計といった授業を選択しているのに加えて、秋学期では公衆衛生栄養学について幅広く学ぶ機会があり、この留学の機会を本当に有難く日々感じています。特に現在は、低中所得国で広がる“Double burden of malnutrition”（栄養過多と栄養不足が同時に進行している状態）の課題に関心を持っています。また、妊娠中の肥満が子どもの健康に短期的（死亡率など）にも長期的（発達障害など）にも影響を与えることを知り、この課題についても深く理解を進めているところです。毎日のように新しい発見があり、非常に充実した日々を送らせていただいています。

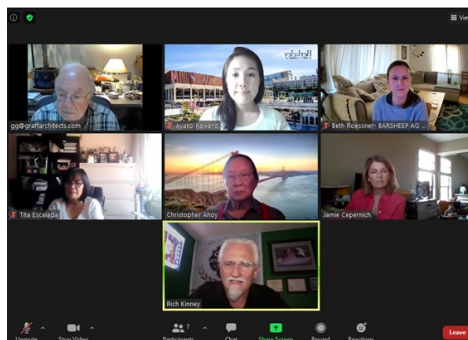
### 3. 受入ロータリークラブとの関わり

受入側のカウンセラーとなって下さったバークレーロータリークラブの Grier さんと、9月に Zoom でお話をいただきました。自己紹介を行うと共に、Grier さんから学業の関心や卒業後の関心分野などについて、色々なご質問をいただきました。バークレーロータリークラブには医師の方や製薬会社にお勤めの方、またバークレーの教授の方など公衆衛生分野だけでも幅広い方がいらっしゃり、それらの方々をご紹介して下さるということでした。コロナ禍で行動が制限されているものの、留學生活が実のあるものになるように最大限サポートしたい、との大変有難いお言葉を頂戴し、このような出会いに心から感謝しています。

また、毎週火曜日に開催されている、BARSHEEP Presidents meeting（イーストベイエリアの各ロータリークラブ会長が参加）にも参加させていただきました。このミーティングでは、直近の各クラブの奉仕活動について報告が行われました。中でもカリフォルニア州の山火事被害に合われた方々に向けた金銭サポートやシェルターの提供に関して、感銘を受けました。コロナ禍で中々難しくはありますが、機会を見つけて奉仕活動に積極的に参加したい旨、お伝えしました。



Grier さんとの Zoom ミーティング



BARSHEEP Presidents meeting

#### 4. 今後の目標

秋学期は多くのコースを選択している為、学業面で相当忙しくなりそうです。コロナウイルスの影響で授業は全てオンラインで実施されていますので、通学に時間をかける必要が無い分、授業や課題に集中して取り組んで行きたいと思えます。但し、学業に専念するだけでなく、バークレーロータリークラブや周辺ロータリークラブの皆さまとも、引き続き交流を重ねていけたらと思えます。バークレーロータリークラブはオンラインで週次定例会議を行っていらっしゃるの、早ければ来週にでも参加させていただく予定です。次回の報告書にて良い成績をご報告できるよう学業に励むと共に、バークレーロータリークラブとの交流の様子もお伝えできたらと思えます。